

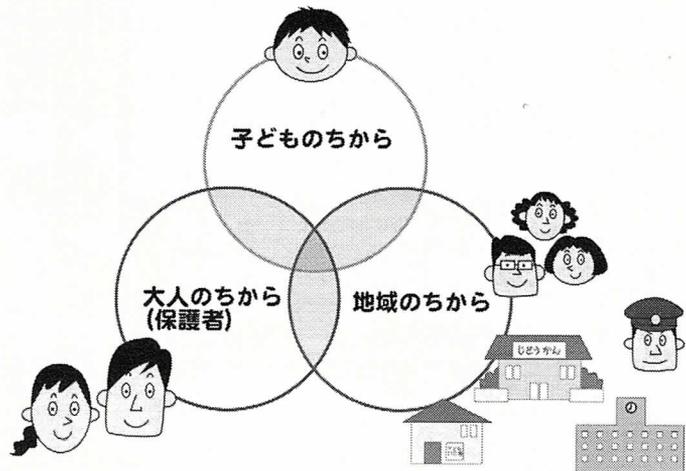
市民防犯の底力 3

市民防犯インストラクター武田信彦

子どもたちの安全を守るために！

子どもを守る3つの防犯力

子どもだけになりやすい環境の中で、子どもたちの安全を守るためには、①地域の皆様の見守り、可能な範囲での②保護者の皆様の付き添い、さらに、③子ども自身の防犯力が欠かせません。子どもたち自身も「ひとりにならない」振る舞い方や道選びをすることで、地域、保護者による防犯活動と子どもの防犯力が重なり合います。みんなで取り組むことが重要なのです！



見守りが生み出す大きな可能性

姿を見せることを意識する、さらに、地域の人々や子どもたちへ笑顔やあいさつの見守りを行うことが、地域の市民防犯の最大の効果を生み出します。

それは、防犯効果のみならず、子どもたちへの大きなメッセージにもなっています。地域の皆様の取り組みと出会うことで、見守り・助け合いの大切さを学ぶきっかけになっているからです。そのバトンは、学生防犯ボランティア等へ受け継がれています。



優しい気持ち、笑顔、あいさつ大切に！

子どもの見守り時に注意すべきこと

とくに子どもの見守りを行う際は、注意すべきこともあります。

①過度な接触をしない、②飲食物をあげない、③私有地や車に入れない（保護する際のぞく）。防犯活動を行う皆さんの善意が誤解されないことが重要です。さらに、悪意・犯意ある者が防犯活動を悪用して犯罪を実行することを防がなければいけません。

過度な接触はしない

飲食物をあげない

私有地や車にいれない